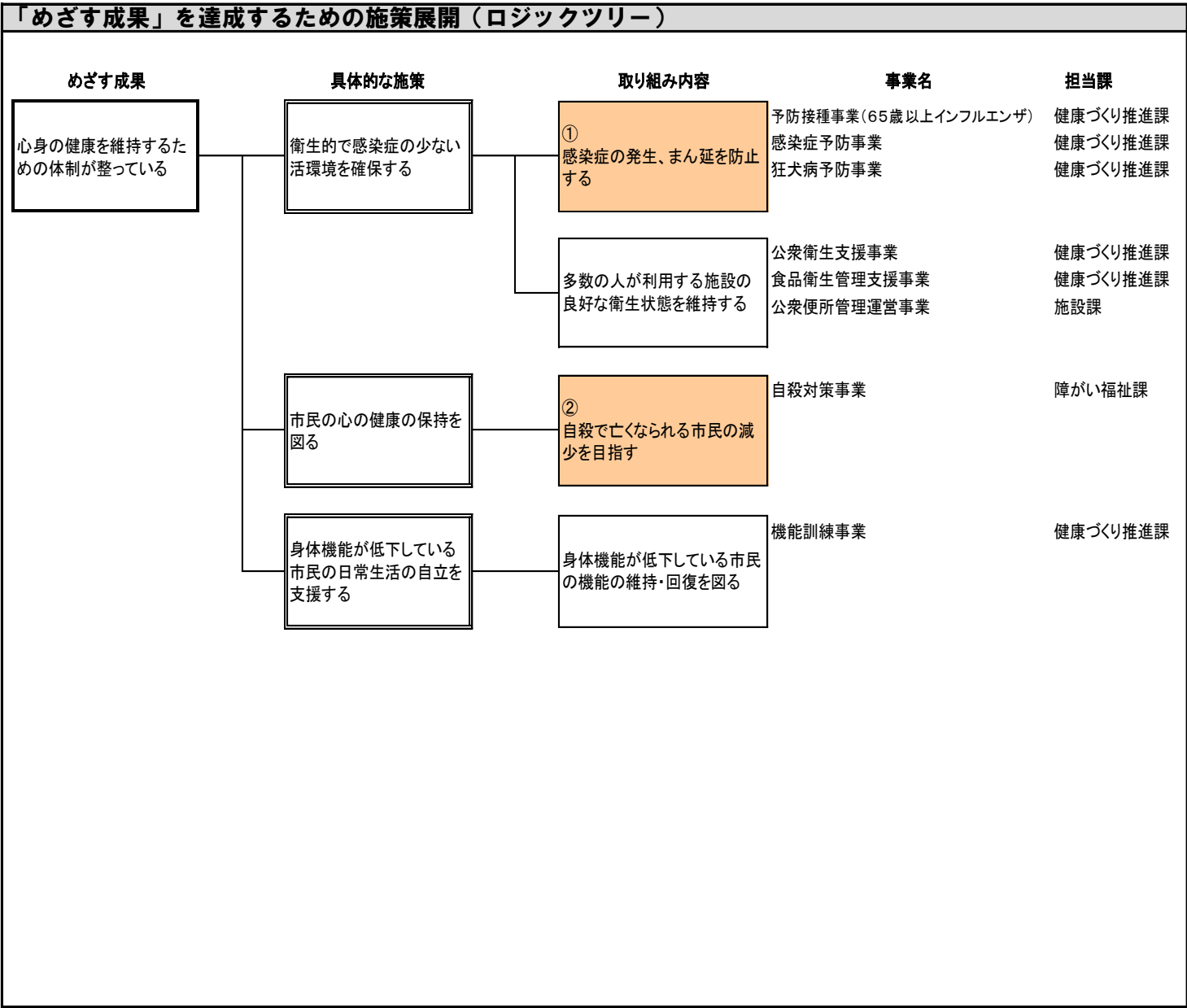


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－1－2 心身の健康を維持するための体制が整っている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	心身の健康を維持・増進する
	めざす成果	心身の健康を維持するための体制が整っている 感染症、食中毒の予防対策や効果的な自殺対策の実施などによって、心身の健康が維持されています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
65歳以上のインフルエンザ予防接種受診率		自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺死者数）	
計画策定時 現状値	38.4%	計画策定時 現状値	20.2人
実績値 （H24）	33.9%	実績値 （H24）	20.9人
中間目標値 （H23）	46.0%	中間目標値 （H23）	17.7人
目標値 （H25）	50.0%	目標値 （H25）	16.4人

所 管 部		健康福祉部	
平成24年度までの 取り組み内容		【衛生的で感染症の少ない生活環境を確保する】 ・季節性インフルエンザのまん延を防止するために、15,930人（前年度15,290人）の高齢者に対し、予防接種を行いました。 ・集団がん検診、女性の健康診査の実施に併せて結核健康診断を実施し、646人（前年度732人）の市民が受診しました。 【市民の心の健康の保持を図る】 ・こころに悩みを抱える人に対する相談体制の整備に努め、自殺対策専用の「心の健康相談電話」を平成21年4月に設置し、相談を受けました。（平成24年度は174件） ・地域で活動し、自殺に傾く人に気づくことを役割とする「こころサポーター」の養成講座の実施により、こころサポーターを養成し自殺の早期予防に努めました。（平成24年度は43人） 【身体機能が低下している市民の日常生活の自立を支援する】 ・40歳以上で疾病や負傷等により心身の機能が低下している方を対象に、自立や社会復帰を促すことを目的としてリハビリ教室を開催しました。平成24年度の参加者数は24人であり、その多くが65歳以上の高齢者でした。	
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）		・感染症予防のため、インフルエンザの予防接種、結核検診を多くの市民に受けていただく必要があります。 ・本市の自殺についての詳細な現状分析を行い、実行性のある施策を展開する必要があります。 ・リハビリ教室は、ニーズの低下と当初の事業目的からのかい離が見られるため、抜本的な見直しが必要です。	
今後の展開方針		注）。例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案		（該当する事務事業）	
既存事業の拡充		（該当する事務事業）	
事業の廃止・縮減	・リハビリ教室の利用者の減少と、介護保険などの他事業への移行が可能であることから、平成25年度限りで事業を廃止します。	（該当する事務事業） 機能訓練事業	
事業の効率化		（該当する事務事業）	
その他見直し		（該当する事務事業）	